

アグアスカリエンテス州投資セミナー

2014年10月24日

アグアスカリエンテス州カルロス・ロサノ・デ・ラ・トレ知事の日本実務訪問の一環として、本日、メキシコ大使館「エスパシオ・メヒカーノ」において、プロメヒコ主催、当大使館後援によるアグアスカリエンテス州政府セミナーが開催され、50社を超える日本企業が参加した。

開会の辞で、アルマンド・アリアガ臨時代理大使は、これまで25回（過去4年間で5回）に及ぶ訪日が見出すロサノ州知事の墨日関係強化への継続的取り組みについて述べた。これらの取り組みによりアグアスカリエンテス州は、州内に70社以上の日本企業を有するなど日本からの投資を最も多く受ける州となった。更に今週、複数の企業が同州への投資について発表している。

現在、アグアスカリエンテス州をはじめメキシコへの投資では、自動車関連部門の存在が際立っている。メキシコが提供する多くのチャンスやインセンティブに加え、ペニャ・ニエト大統領が政権発足以降行ってきたエネルギーや通信関連を含む諸改革も日本企業から大きな関心が寄せられており、今後数年間、日本からの投資は増加していくものと見込まれている。

アグアスカリエンテスと日本との関係は、経済・ビジネスに限定されるものではなく、学術・文化など他分野に及ぶ。今月末には、両国から66の大学及び30の企業が参加して第二回墨日学長会議が開催された。



ロサノ知事は、その挨拶の中で、30年以上前から続いている日本と同州との強い絆について語った。アグアスカリエンテス州には、日産の二つの工場がある他、同州が提供する日本語での教育やレジャーに関する様々なオプションがあり、そのことが多くの日本企業や日本人の同州在住に反映されている。また、知事は、訪日の成果についても触れ、セミナーに参加した企業に同州への訪問及び投資を促した。知事の挨拶の後、エサウ・ガルサ アグアスカリエンテス州経済開発局長官が、同州に関する日本語のビデオを上映しながらアグアスカリエンテス州でビジネスを行うメリットやチャンスについて紹介した。

本セミナーは、ロサノ知事と4人の同州職員によって構成されるミッションによる5日間の政治・経済・文化関連の精力的な活動を締めくくるものであった。訪日中、知事らは、東京、横浜、名古屋、京都の各都市を訪問し、経済産業審議官、外務副大臣、神奈川県知事と個別に会談を行った。また、日本企業や銀行20社との会合や東京（本セミナー）と横浜における二つのセミナーを実施した。活動初日にあたる10月20日には、ロサノ知事とミッションのためにアルマンド・アリアガ臨時代理大使によるレセプションが開催された。



アグアスカリエンテス州投資セミナー参加者